



7月度の
の御書

「弁殿並尼御前御書」

御文

日蓮その身にあいあた
りて、大兵をおこして
二十余年なり。日蓮、一
度もしりぞく心なし。

(御書新版1635ページ 御書全集1224ページ)

意味

日蓮は第六天の魔王と戦
う身に当たって、大きな戦
を起こして戦うこと20数年
である。その間、日蓮は、
一度も退く心はない。

みんなの中には、最後に必ず勝つ力がある

ライオン博士のキング君だよ！今日は、少年少女部歌
「Be Brave! 獅子の心で」の歌詞にもある「負け
ない心」について話すよ。

日蓮大聖人の時代は、地震が起きたり、食べ物が足り
なかったり、病気がはやったりと、日本中の人々が苦しんで
いた。大聖人は、そんな人々を苦しみから救い、平和を
築くため、20年以上も戦い続けてきた。そして「一度も
にげる心はなかった」と言い切ったんだ。

大聖人は「大きな戦を起こした」と言われているけど、
では大聖人が戦った相手は何だろう？それは「魔」って
言うんだ。

「魔」ってね、ボクたちの心の中に、じわ……じわ
……って、いつのまにか現れて、せん領しちゃうんだ……。
えっ、どこから来たのかって？実は、いつも心の中にか
くれているんだよ！

「魔」が現れる時って、例えばこんな感じ。「今日もがん
ばるぞ」と思って一日をスタートしたはずが「ま、いっか」っ
てあきらめちゃったり、友だちに「優しくしよう」と思って
いたのにイジワルしちゃったり。それらは「魔」がえいきよ
うしているんだ！

その「魔」の中でも最強なのが、御文に出てくる

「第六天の魔王」だよ。しのび寄るのがうまい、やっかい
な敵なのさ。

大聖人は、世界中の人を幸せにすることを人生の目標
にした。その目標のために、「魔」に勝つ方法、つまり
何があっても「負けない心」を育てる方法を研究し、た
ひとびと おし けんきゅう つくえ うえ べんきょう
人々に教えたんだ。研究といっても、机の上でやる勉強
ではないよ。自分で体験して、それを伝えていったんだ。

思ったようにできなくてくやしい時が、だれにだってあ
ると思う。でも、それは決して「負け」じゃないよ。チャ
レンジしようとする心がある限り、負けてはいない。もし
今日負けても、明日からまたがんばればいいんだ。

大聖人がたどり着いた「魔」に勝てる方法、それが
「唱題」なんだ。唱題すると、何度だってがんばれる力
を引き出すことができる。

池田先生は、こう言われたよ。

「未来は、みなさんのものです。勝利をつかむその日
まで、『じっとこらえて今に見よ!』」と。

みんなの中には、最後に絶対、勝つ力がある。そのこ
とを忘れないでいてね。